

活動実績報告書

林野庁長官 殿

令和7年 2月 7日

登録番号 20240805

氏 名 福留 福太郎

森林総合監理士登録・公開の運用について（平成26年4月1日付け25林整研第268号林野庁長官通知）第3の2の規定に基づき下記の期間における活動実績を報告します。

令和5年 4月 ～ 令和7年 1月

（活動の内容）

西米良村における将来の林業担い手を確保・育成する活動

○取組のポイント

- ・新規就業者の確保
- ・県境を越えた林業系高校生との取組

○地域の課題

・林業従事者の高齢化

村内の林業従事者の高齢者（65歳以上）の割合は全体の43%を占めており、県全体（25%）と比較しても非常に高い。現状の従事者が70歳代で引退すると仮定すると、今後10年で推定19名の従事者が引退することとなる。

【図1参照】

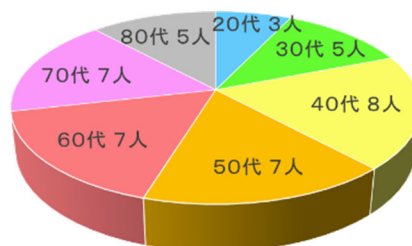


図1 林業従業者年齢構成 (R6.5)

・村内者の実行割合の低下

村内の造林・保育施業における村内者の実行割合は令和2～4年度は90%前後で推移していたものの、近年は50%まで低下している。

【図2参照】要因については、高齢化により村内の受託者が減ったためであり、村外事業者への委託を増やして現在の施業面積をまかなっている状況である。

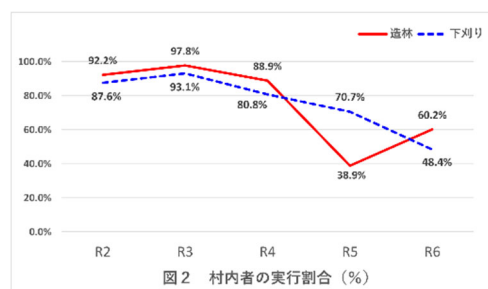


図2 村内者の実行割合 (%)

上記の課題を解決するには、引退者の補充を見据えた担い手の確保が重要であるが、村林業の活性化のためには村内の森林整備の実行割合を増やすことが重要であることから、補充以上の新規従事者の確保を念頭において普及活動を実施していく必要がある。

○具体的な取組内容と成果

・新規就業者確保の取組

西米良村は、村面積の95%を森林が占める山村地域であり、神楽などの伝統文化が今なお息づいている村でもある。そのため、村の移住・定住の所管課へは移住を希望する者からの問い合わせがあるものの、村内には住居や選択できる仕事が少ないこともあり、移住に繋がる確率が低い。そのため、移住・定住の所管課と連携を図り、移住希望者へ林業（特に造林・保育）の職業紹介を行うことで、移住後の職業に林業を検討してもらう取組を実施している。また、住居問題についても、村の森林環境譲与税を活用した住宅整備についての検討を開始した。

・県境を越えた高校生との取組

村内の保育・教育機関はこども園、小学校、中学校が各1施設のみで、近隣には通学できる高校が無いことから村内の子ども達は中学校を卒業したら村外に出て高校生活を送っている。卒業後にリターンした子ども達が林業を職業として選択できるよう、子ども達へ林業の興味・関心を高めるべく森林環境教育や木育を開始した。

実施にあたっては、行政や普及指導員などでは職業紹介の意味合いが強くなってしまいうことから、子ども達と林業の未来や夢を語れる年の近い高校生と協働で実施することとした。なお、県内の林業系の高校は村から遠方(車で約2時間)にあるため、隣県で森林・林業に関する学科を設置している熊本県立南陵高校(車で約40分)と連携して子供達への森林環境教育を実施し、高校生の能力向上を図る目的で森林教室の講師役に高校生を起用【写真1】したり、高校生に木エキットを依頼【写真2】するなどの取組を行った。



写真1 高校生が講師役となった森林教室

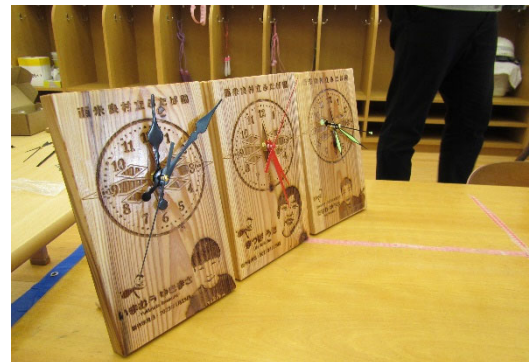


写真2 高校生が作成した時計キット

○今後の展開

・村内従事者や移住者も含めた、働きやすい環境の整備

村内の森林は、急峻な山々であることから、県内の一般的な施業地に比べ過酷な環境である。そのため、現地の状況に合わせた従事者への支援を行うことで現在の従事者や、将来の移住して林業に就く従事者の環境を整える必要がある。今後も村と連携して、森林環境譲与税を活用した林業従事者への施策展開を継続して実施していきたい。

・森林環境教育の継続

現在の中学2年生で2名が将来林業に就きたいと夢を語るなど、一定の成果が表われてきた。今後も、地域や林業系の高校生と連携を密にして、地域の子供達への森林環境教育を継続して行い、村の林業担い手を地域から育てていきたい。

【利用目的】

私は活動実績報告書（以下「報告書」という。）に記載し提出する個人情報について、以下に規定されている利用目的について確認し、同意します。

☒ ←同意した場合は✓を記入して下さい。

- 1 報告書は、林野庁ホームページに公開し、森林総合監理士の活動実績を紹介するために利用するものとする。
- 2 1のうち、市町村及び地域の林業関係者への典型的な技術的支援の事例については、事例紹介の資料として公開するために利用するものとする。

【注意事項】

- 1 活動実績は、直近の過去3年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。
- 2 報告書は、A4としてください。
- 3 この報告書は、林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。
- 4 利用目的に☑が記されていない届出書については無効とし、廃棄します